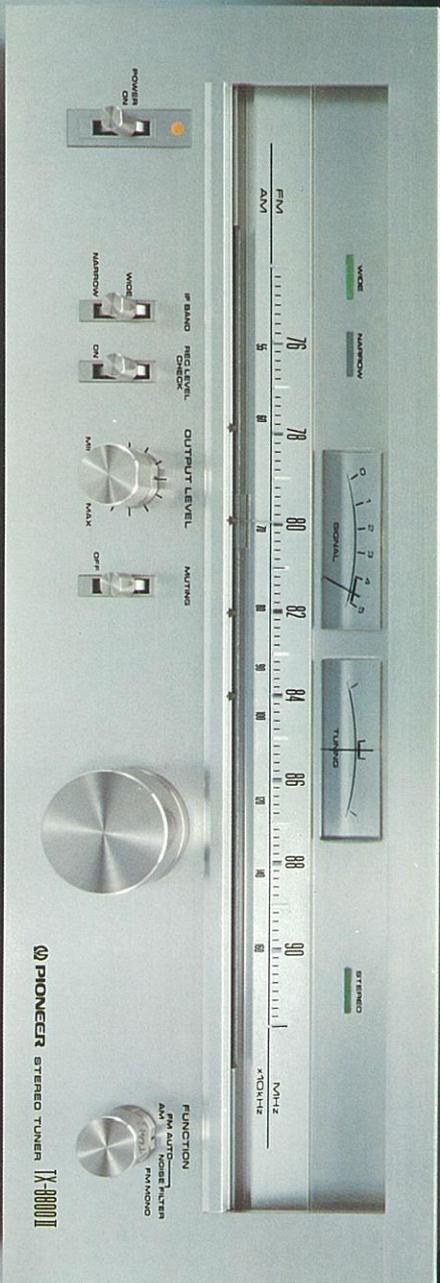


WIDE/NARROW IFバンド切換式  
AM/FMステレオチューナー

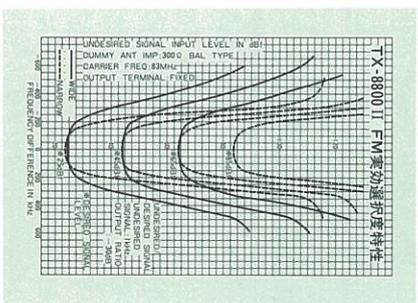
# TX-8800II

¥46,800

パイロット信号オートキャンセル回路、選択度2段切換え、さらにRECLABELチップも装備  
**新開発専用ICを生かして、受信性能と音質を向上。**

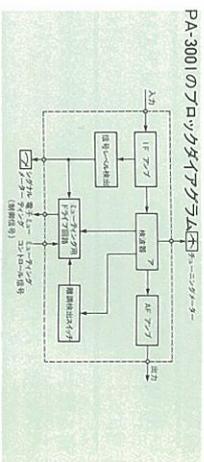


こでTX-8800IIでは選択度ワイド/ナロー2段切換



えを採用し、受信条件に合わせでセレクトできる。しかもこのIF段では新開発のノイオニア専用IC(PA-3001)で、検波段を低雑音・低ひずみ化し検波効率の向上を実現。同調特性を高め

て多少の同調ずれでもひずみの増加をおさええています。ナローバンドは2素子セラミックフィルター4個で高い選択度(80dB)を得るとともに、この新開発ICにより音質の劣化を防いでいます。そしてワイドバンドは、2素子セラミックフィルターを1個にしてこのICの特性をより發揮させ、ステレオ時でSN比75dBひずみ率0.1%(1kHz)のすぐれた音質です。



MPX部には、広帯域再生を可能にするパイロット

信号オートキャンセル回路内蔵の新開発ICを採用。

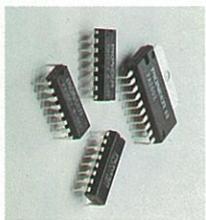
FMステレオ放送には、左右チャンネル分離用に19kHzのパイロット信号が含まれています。この信号が再生音に混入しないようローパスフィルターでカットするのが一般的ですが、フィルターの使用はどうしても再生音に影響をあたえやすく高域を

TX-8800 IIは、高い受信性能と、低ひずみ率、高SN比、広帯域再生などすぐれた音質を高立させた新鋭機です。回路には新開発のノイオニア専用ICを要所に採用するほか、選択度2段切換えやパイロット信号オートキャンセル回路など音質重視の設計。FM録音時に便利なRECLABELチップ回路も内蔵しています。

高い受信性能とすぐれた音質の実現に、新開発のノイオニア専用ICが活躍。

TX-8800 IIは高い受信性能を得るとともに、低ひずみ率、高SN比、広帯域再生など、すぐれた音質の実現に力をそそぎました。そのためノイオニアの高いエレクトロニクス技術で、新しいノイオ

ニア専用IC群を開発し回路の要所要所に採用しています。これまで特性上有利なことが分つていて容易に実現できなかった回路が、新開発のICで可能になり受信性能と音質を向上させました。



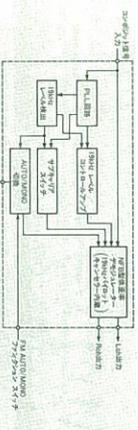
1.8μV(新IH・10.3dB)の高感度と高い妨害排除能力。4連ノココンとデュアルゲートMOS型FETで構成したFMフロントエンド。

TX-8800 IIのFMフロントエンドは、4連ノココンと雑音指数の低いデュアルゲートMOS型FETによる構成。これにより1.8μV新IH・10.3dBの高

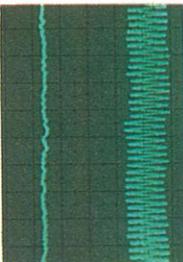
IF部はWIDE/NARROWの選択度2段切換えを採用。新開発ICでSN比向上とひずみの低減をはかっています。

実効選択度特性は受信局に隣接する妨害波を排除する能力ですから、選択性能の面ではナローな特性が望まれます。しかしSN比やひずみ率など音質面では、選択度をワイドにした方が有利です。そ

低下させます。



PA-1001のフロロカタダイアグラムの様子



いずれもオーディオのOUT PUT端子から10kHz以上の周波数の電圧を監視し、日本キヤンセル回路で打ち消された場合

オーディオ用アンプとミューテイング回路、そして電源部にも新開発ICが使われ、性能向上に活躍しています。

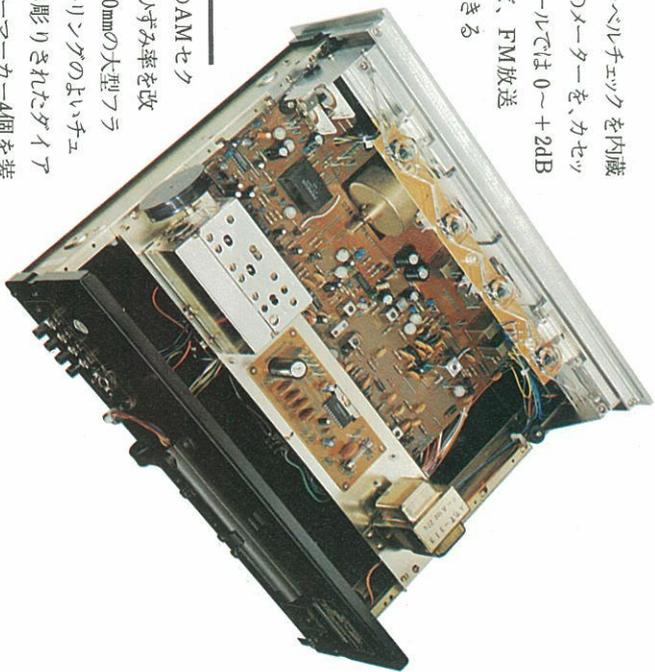
オーディオ用アンプとミューテイング回路は、新開発の専用IC (PA-1002) で構成されています。このオーディオ用アンプのデモエンプ回路には、誤差1%の抵抗や2%のコンデンサーなど厳選した素子を使用し、すぐれた周波数特性を得ています。局間雑音やスイッチ切替時の雑音を低減するミューテイング回路は、IC内の応答の早いスイッチングのローカットフィルターをTX-8800 II では8 Hzにして、低域特性を伸ばしています。さらにTX-8800 II では、電源部にも新開発の専用IC (PA-2002) を採用し、信頼性の高い電源部を構成しています。

FM録音のとき威力を発揮する、RECLレベルチェッカースイッチを装備。

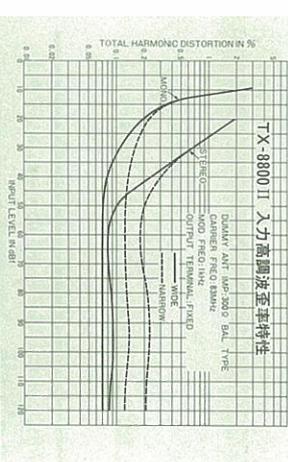
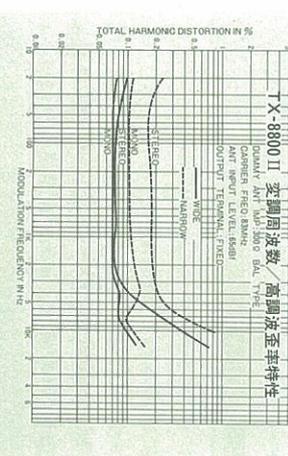
上手なFM録音にはテープレックの正しい録音レベル設定が大切です。TX-8800 IIは、FM50%変調時と同じレベルの440Hz信号音を、1.6秒間隔で出

力に送り出す、レコーディングレベルチェッカを内蔵しています。この信号でデッキのメーターを、カセットでは-2~0dB、オーディオレベルでは0~+2dBあたりにレベルセットすれば、FM放送が高SN比、広帯域で録音できる便利なスイッチです。

音のよいAMセクション、FMセクションのよいチューニングメカ。そして付属機構も充実しています。



2連バリコンと高集積度ICのAMセクションは、低域の周波数特性やひずみ率を改善した音質重視の設計(直径60mmの大型トランジスタ)を使用し、FMセクションのよいチューニング機構/シャープに浮き彫りされたダイアル面、下部にスライド式メモリーローカー4個を装備/MPXノイズフィルター/固定と可変の2系統出力端子/ワルチパス出力端子など、TX-8800 IIは付属機構も充実しています。



# TX-8800IIの規格

[FM部]	
回路方式	MOS FET 1段4連バリコン、1F BAND切替付
	クォーターエッジ検波、パイロット信号
	オートキヤンセラー内蔵PLLロック
	ルバランス、NFB方式
S/N50dB感度	モノ……………3.5μV、新HF16.1dBf
	ステレオ……………40μV、新HF17.2dBf
実用感度	モノ……………1.8μV、新HF10.3dBf
	モノ……………79dB
S/N	モノ……………75dB
	ステレオ……………5dB
	WIDE
	NARROW
高域減衰率	モノ……………0.15%(100kHz)
	0.15%(100kHz)
	0.08%(1kHz)
	0.15%(1kHz)
	0.15%(10kHz)
	0.15%(10kHz)
	0.15%(15kHz)
	0.15%(15kHz)
	0.45%(100kHz)
	0.1%(1kHz)
	0.45%(1kHz)
	0.5%(10kHz)
	0.95%(10kHz)
	0.8%(15kHz)
	0.8%
	2.0dB
キャパシタンス	0.8dB
実効減衰度	35dB(400kHz)
	80dB(100kHz)
	60dB(500kHz)
ステレオセパレーション	45dB
	45dB
	30dB
周波数特性	50Hz~15kHz……………35dB
	20Hz~10kHz±0.2dB
	20Hz~15kHz±0.5dB
イメーシット比	90dB
	90dB
ステレオ比	100dB
	100dB
AM抑圧比	90dB
	55dB
サテライト比	72dB
	72dB
ミューテイング動作レベル	5μV(19.2dB)
	300μV(平準型)、75Ω 不平準型
	アンテナ……………3000 平準型、75Ω 不平準型
[AM部]	
回路方式	非同調RF 1段2連バリコン
	オートアンテナ……………300μV/1m
実用感度	外部アンテナ……………15μV
	300B
選択度	300B
	50dB
S/N	45dB
	45dB
イメーシット比	50dB
	50dB
IF抑圧比	50dB
	50dB
[出力部]	
FM(100%変調)	FIXED 650mV/4.2kΩ
	VARIABLE
	50mV~1.3V/3.6kΩ
	FIXED 200mV/4.2kΩ
	VARIABLE
	15mV~400mV/3.6kΩ
[使用半導体]	
FET	3
IC	6
トランジスタ	11
ダイオード等	16
[電源部・その他]	
電源電圧	100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	20W
	(電源スイッチ非動作)
AOアクトレリット	420(W)×150(H)×392(D)mm
外形寸法	8.0kg
重量	

JA-T1 FM専用アンテナ……………¥4,000  
FMの音質を大切にした、中・強電界用FM専用アンテナです。位相差給電方式による優れた指向特性。小型で軽量の取付場所を選ばない素子アンテナです。●75Ω、300Ω共用。